



女子種別大活躍！なぎなた競技大健闘!!

なぎなた競技少年女子が演技、試合ともに入賞、成年女子が演技で入賞という成績を収めました。さらに成年女子は、20日の試合において入賞をかけて戦います。また、柔道競技少年女子、陸上競技成年女子と少年女子、ライフル射撃競技少年女子が入賞するなど女子種別の健闘が光っています。いよいよ長崎国体も残りわずかですが、選手の皆さん、最後まで自分を信じて力を出し切ってください。頑張ろう!チーム和歌山!!

入賞おめでとうございます!!



●陸上競技

成年男子 砲丸投	鈴木 孝尚(株式会社オークワ)	4位(5点)
成年女子 ハンマー投	大崎 かな(筑波大学)	7位(2点)
少年男子共通 円盤投	湯川 棕盛(県立箕島高等学校)	8位(1点)
少年女子共通 棒高跳	東山 真悠子(県立桐蔭高等学校)	8位(1点)

●なぎなた競技

成年女子 演技	山本 千代(和歌山県教育庁)	2位(21点)
	山内 綾(県立紀北支援学校)	
少年女子 演技	南出 成美(和歌山信愛高等学校)	2位(21点)
	石原 葉月(近畿大学附属新宮高等学校)	
少年女子 試合	南出 成美(和歌山信愛高等学校)	7位(6点)
	石原 葉月(近畿大学附属新宮高等学校)	
	濱中 直子(和歌山信愛高等学校)	

●ライフル射撃競技

成年男子 10mS60M	篠原 章宏(和歌山県教育庁)	5位(4点)
少年女子 BP40JW	楠本 侑加(和歌山市立高積中学校)	7位(2点)

●柔道競技

少年女子 団体	松田 なみき(県立紀央館高等学校)	4位(15点)
	岡本 希望(県立紀央館高等学校)	
	阪部 りり子(県立紀央館高等学校)	

※10月18日(土)～10月19日(日)17:00までの入賞者





選手・監督からのコメント

○鈴木孝尚選手(陸上競技:成年男子)

陸上のキャプテンとして責任を果たせたと思います。3位以内を狙っていたのですが、試合の組み立てがうまくいきませんでした。来年は、技術面はもちろん試合の組み立てもしっかりできるように練習していきたいです。

○大崎かな選手(陸上競技:成年女子)

初日の試合だったので、入賞することでチームに勢いをつけることができ良かったです。今回の出来は60点でしたが、足りない部分を補って和歌山国体では優勝できるように頑張ります。

○湯川椋盛選手(陸上競技:少年男子)

記録は満足できませんが、入賞してポイントを獲得できたので良かったです。皆さんののおかげで入賞することができました。ありがとうございます。

○東山真悠子選手(陸上競技:少年女子)

もっと上のレベルで勝負するためには、まだまだ実力が足りないことや高い知識が必要だと感じました。今回の経験を踏まえ、1日1日の練習を大切にして、もっと高いレベルを目指したいと思います。

○山本千代選手(なぎなた競技:成年女子)

演技で2位に入賞でき大変うれしく思います。応援くださりありがとうございました。来年の和歌山国体に向けてさらに精進し、頑張りたいと思います。

○山内綾選手(なぎなた競技:成年女子)

演技競技で2位に入賞でき大変うれしく思います。私たちが熱心に指導し、応援くださった方々のおかげでこのような結果が出せたのだと思います。まだまだ未完成の演技ですので来年に向けて作り上げていきたいと思います。

○貴志香寿監督(なぎなた競技:少年女子)

少年は演技、試合ともに入賞することができ、大変うれしく思います。選手が3年生、2年生、1年生と学年が違いましたが、自身の役割を果たせたことがチームの勝利につながったと思います。今回の課題を整理して、来年の和歌山国体に向けて頑張ります。

○南出成美選手(なぎなた競技:少年女子)

試合中に聞こえる声援がとても励みになりました。演技、試合ともに入賞でき、嬉しく思います。今回の経験を和歌山国体に繋げていけるよう、これからも頑張っていきます。

○石原葉月選手(なぎなた競技:少年女子)

多くの方に応援をして頂き、演技では2位、試合では7位に入賞することができました。長崎国体でまだ足りない所を見つけたので、和歌山国体に向けて、稽古を積んで頑張ります。

○濱中直子選手(なぎなた競技:少年女子)

たくさんの方の声援のおかげで7位に入賞することができました。課題はたくさんあるので、来年に生かしていきたいです。

○忠岡一也監督(ライフル射撃競技:成年男子)

本来なら、3位以内に入る実力があるが、一本大きなミスがあり、最後まで響いてしまいました。コンスタントに高得点を出せるよう、練習していきます。

○篠原章宏選手(ライフル射撃競技:成年男子)

5位という結果は、決して満足できるものではありません。上位との差を埋めるよう努力していきます。

○楠本侑加選手(ライフル射撃競技:少年女子)

狙い過ぎてしまい外した点もあったので、そこを直していきたいと思います。一つ順位が上がったので良かったです。来年はファイナルでも、10点を出せるように頑張ります。

○松村遥香監督(柔道競技:少年女子)

選手たちは本当によく頑張りました。来年に向けて弾みがつきました。さらに良い結果を出せるように、より一層稽古にはげみます。

○岡本希望選手(柔道競技:少年女子)

3人のチームワークの良さで4位に入賞することができました。自分にとっては最後の大会だったので、3人でがんばって入賞することができ、本当に良かったです。後輩たちには、来年の和歌山国体での優勝を目指して頑張ってもらいたいです。

